

小学生による バリアフリー体験学習開催



発信日

平成28年10月31日

久留米市立南薫小学校の4年生児童62名が10月18日と24日の両日(午前のみ)、九州技術事務所内にあるバリアフリー体験施設に来所。車いすと白杖の体験をしました。



この体験施設は、1周約250メートルで実際と同じ道路の上に点字ブロックや段差、スロープなどが設置された全部で9つの体験ゾーンに分かれており、車いすや白杖を使って、実際に通行することで様々なハンディーを体験し、バリアフリーの必要性を経験してもらうのを目的としています。



= 段差 3cm =



車道と歩道の境目に段差を設けています。実際に体験することで、1センチの差でも大きく変わることを感じることができます。
(設計標準は2cm)



Q: 点字ブロックはいつからあるんですか？

A: 40年程前から開始されました。
この辺りに導入されたのは、約30年程前です。
(点字ブロックがはじめて登場したのは、1967年岡山市とのこと。)



車いすに乗った児童たちは、歩道の段差や登りの坂道に少々苦戦した様子。「普段気にしたことも無い歩道の段差や坂道が、車いすにとってこれほど大変とは思わなかった。」

「みんなが安心して楽に通れる歩道がいい！」と早くも、バリアフリーの大切さを理解してくれました。

